

[illegible]

5. 取組内容

【人材確保の課題】

【春日井市の現在の人材確保支援や課題】

・従来のツール（就職支援サイト掲載や就職フェア出展）を利用した際に助成金を交付する支援や大学内での就職フェア、ハローワークと連携した就職フェアなど新卒採用や既存のネットワークを活用した支援を実施しているが、こうした支援だけでなく、大企業との待遇や知名度などでの消耗戦から脱却するための取組が必要。

・さらに学生が本格的な就職活動を始める前に接点を持ち、長期的な関係性を構築し、自社の魅力などを知ってもらう採用を直接の目的としない場の提供が必要。

【今後の取組】

④スポットワークサービスの企業や労働分野の専門家と連携し、育児やひきこもりで長時間の就労が難しい者の短時間就労の活用に関心がある企業との実証試験：専門家派遣謝金200千円

②大学生、高校生との交流の場を提供している市内企業と連携し、インターンシップや企業訪問などにつながる新しいネットワークを促進：諸経費200千円

6. スケジュール

[illegible]

1. 背景・現状

- ・著しく変化する経営環境、事業課題の中支援を要する事項も刻々と変化する。
- ・第4次アクションプランの策定以降、審議会の定期開催によるPDCA体制が構築
- ・厳しさを増す市財政状況

2. 目標・あるべき姿

- ・現状やニーズを的確に捉えた支援策の柔軟かつスピーディなスクラップ&ビルド
- ・”補助金”から”ソフト支援”へのシフト
市・商工会議所・事業者等が地域産業振興の主体を担い、連携しながら推進

3. 課題

- ・企業の実態を捉える機会の不足と支援策のスクラップ&ビルド～実行までの流れ・仕組の構築
- ・補助金に頼らない市や商工会議所の役割の見極めや民間事業者の責務・主体意識・地域愛の醸成

4. 着眼点、方向性

○市の状況や想い（アクションプラン）の理解促進・情報共有。
「意見交換」や「情報収集の場」を設ける

○民間事業者の想いや自主性を醸成させつつ場を活用した情報収集

○市は事業者の生の声を捉えたスクラップ&ビルドや重点事業の見極め

5. 取組内容

★中小企業 振興基本条例 (R6.4.1施行)

- ✓ 地域社会が一体となって推進
- ✓ 事業者自らの創意工夫・自主的な努力のもと経営改善と持続的な発展
- ✓ 市は様々な立場の者から情報収集

★産業振興ミート制度の創設

「産業振興ミート」を開催する民間企業団体を公募！

産業振興ミートとは...

企業団体が、企業間での困りごとを情報共有し、
地域産業支援について考え・語りあう場

開催テーマ

- ・市の事業者アンケートの結果から見えた優先すべき課題分野
- ・近年の社会情勢の変動等を受けた事業課題 等

...に対して、自力でできる事、連携して取り組める、事支援が必要な事

- ・市は、開催場所の提供
- ・市職員の同席。
必要に応じてアクションプランや事業の説明を実施



狙い・効果（企業側）

- ・企業間情報共有による事業改善のヒント
- ・企業団体等の地域産業振興に対する主体意識「地域愛」醸成

- ★地域貢献事業の活性化
- ★事業改善の活性化

狙い・効果（市側）

～企業の声を集める（定性調査）～

- ・事業者アンケート結果の深掘り
- ・近年生じた事業課題把握

・新規事業やスクラップのアイデア

☆審議会上程＆審議

実行

- ★効果的な施策提案
- ★PDCAの活性化

6. スケジュール

	8	9	10	11	12	1	2	3
商工業振興審議会の開催	▼							
実施要領の整備 ～公表～実施者公募～	▼	▼公募						
第一回開催（希望）				～調整～	☆目標			
まとめ					▼	▼	～事業検討	